

被災地でのボランティア活動で大切にしたいこと

■ ボランティアの心得 ■

出かける前の準備をしっかり

情報収集、体調管理、食事や就寝場所の確保、交通費の確保など。

被災者の立場に立った活動を

あいさつや言葉遣い、約束を守るなど、基本的なことを大切に。

自分で考えて

周囲の様子をよく見て、自分ができるところをやる。

ルールを守って

勝手な判断はせず、グループで相談する。困ったらボランティアセンターに相談を。

断る勇気を持つ

危険なことやできないことは、できないとはっきりと。

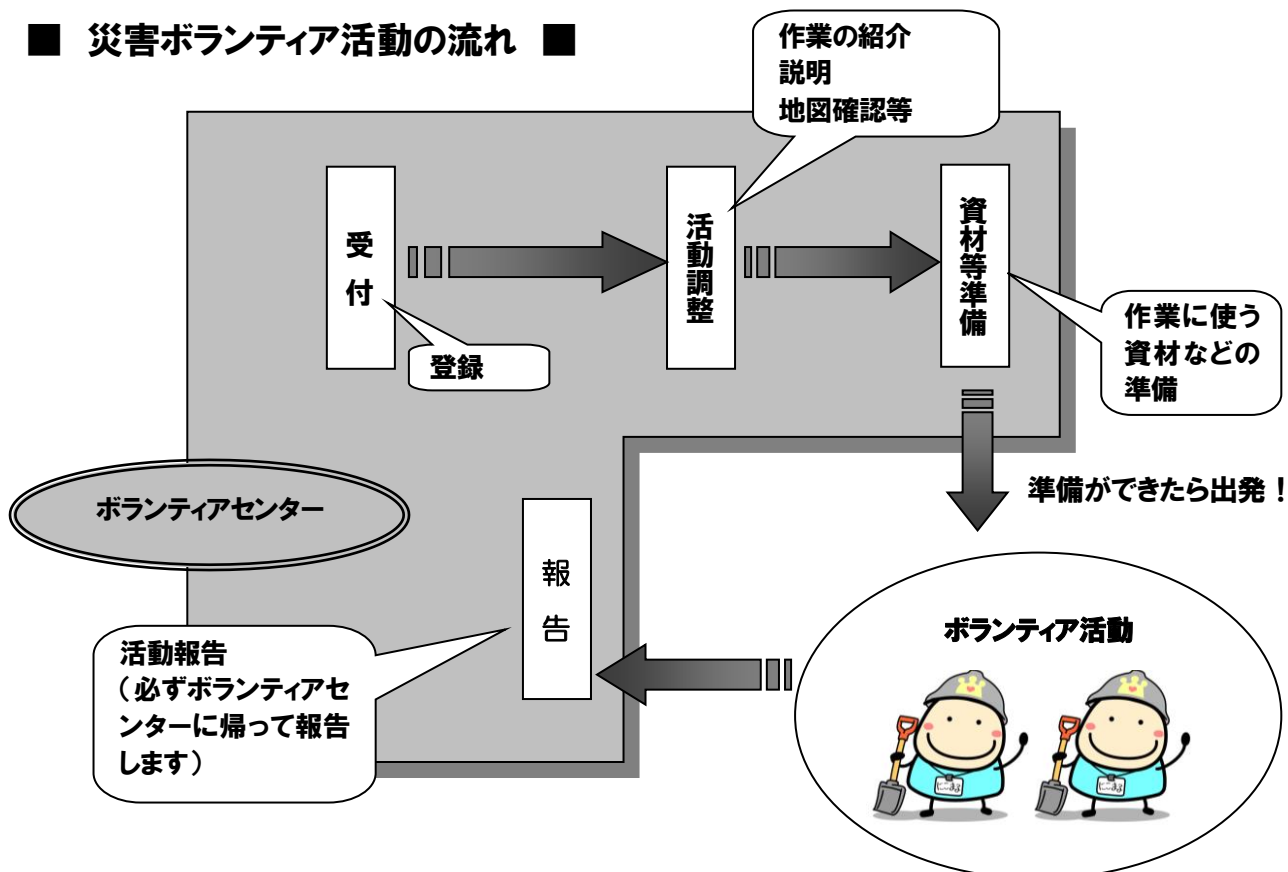
思い込みをしない

報道などの情報から勝手な思い込みをしないこと。

地域住民の自立を支援

被災者に協力して一緒に復興を目指す。

■ 災害ボランティア活動の流れ ■



活動上の注意事項

○現地では

現地に着いたら…

- *「相模原市災害ボランティアセンターから来ました」と伝えてください。
- *作業内容を依頼者に再確認してください。
- *トイレの利用をお願いしてください。
- *室内の場合は、靴を脱ぐかどうかを確認してください。

○活動(作業)

作業中には…

- *休憩をとりましょう。
- *安全には十分に注意してください。
- *危険な作業やできないことは断ってください(後でセンターに報告)。
- *捨てる前に依頼者に確認しましょう。
- *怪我をしたらボランティアセンターに連絡してください。
- *判断に困ったらボランティアセンターに連絡してください。

○作業終了

終了したら(時間が来たら)…

- *作業は、午後4時までにボランティアセンターに帰ることができる時間に終わります。(やり残した仕事があれば、報告書に理由を添えて記録する)
- *作業終了を依頼者に確認してもらいます。
- *活動の継続希望を依頼者に確認します。希望があったらセンターに報告します。
- *持っていった資機材を忘れずに持ち帰ってください。

○センター帰着

センターに帰ったら…

- *センターに入る前に、長靴の泥を落とし、手荒い・うがいをします。
- *持っていった資機材を返してください。
- *報告書を書いて、提出してください。(提出簡単に活動内容をお聞きいたします)

お疲れ様でした！気を付けて帰りましょう。

*途中で帰宅の必要が出た場合などは、必ずボランティアセンターに連絡してください。

相模原市災害ボランティアセンター